

私たちの合言葉は、「We Do !!」 わがたっで、すっど!!

第7期 薩摩川内市女性チャレンジ委員会の取り組み

薩摩川内市女性チャレンジ委員会とは
市政に市民の声を幅広く反映させるため、平成17年4月に「女性50人委員会」として設置されました。第5期からは、「行政に頼るだけではなく、私たち自身で何ができるか!」を考えることを目的とし、名称も「薩摩川内市女性チャレンジ委員会」に変更しました。現在、第7期(平成29年4月～平成31年3月)の委員25人が在籍しています。

4グループに分かれて「地域づくり事業構想の策定」に向けて現状把握、テーマの決定、重点課題抽出と話し合いを重ねています。任期終了時には実現可能な事業の提言を行うため、男女共同参画アドバイザーのたもつゆかり氏と一緒に学びを深めています。

ハーモニー



テーマ
【地域で支えあうための世代間交流の仕組みづくり】
世代間交流が難しくなっている近年、地域の方々が支え合いながら生活していくためにはどうしたらよいかを考えます。

島美人



テーマ
【元気でいきいき暮らす島づくり】
甌島のことなら何でも分かる甌島地域の委員だけで構成されています。島全体が元気になり、生き生きと生活できるようにするためにはどうしたらよいかを考えます。

虹



テーマ
【薩摩川内市での地域格差】
本市の中で、人口密度の高い地区、低い地区がそれぞれ抱えている問題を洗い出し、その中から見えてきた地域格差について考えます。

やまとなでしこ



テーマ
【地域コミュニティの今後のあり方について】
現在のコミュニティの運営の仕方はこのままでよいのだろうか? より良くなっていくためには、どのような視点を持って関わっていくべきかを考えます。

一人一人のより近くに
一人一人により深く寄り添うことができる…
多様な生き方をしている市民一人一人の人権を尊重して

平成30年度 男女共同参画フォーラム in 薩摩川内



とらいあぐる

～一人一人が幸せを実感できるまちへ～

【編集】=「とらいあぐる」編集員
【問合せ先】=本庁企画政策部 ひとみらい政策課
ひとみらい政策グループ
☎(23)5111(内線4741)

本フォーラムは、男女が互いにその人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会への気運を高めることを目的に開催します。

元厚生労働事務次官の村木厚子氏による基調講演から、女性も男性も仕事と家庭を大切に、多様な立場を生きる一人一人が出身と居場所のある社会をつくるためには、今、何が必要なのか、一緒に考えてみませんか。

【時】7月14日(土) 13時～15時50分
(受付は12時30分から)
*入場無料
*手話通訳あり
*託児あり(6月29日(金)までに予約)
【所】国際交流センター(天辰町)
【内容】
▼13時 主催者あいさつ
講師:村木 厚子氏
(元厚生労働事務次官、伊藤忠商事(株)社外取締役)
演題:あきらめない!女性も男性も仕事と家庭を大切にできる社会を創ろう。
▼14時45分 ダイアログカフェ
村木氏の基調講演を聴いて感じたこと、学んだことについて、対話を通して共有します。
ファシリテーター:高崎 恵氏
(ワークシヨップデザイナー)
コメンテーター:村木 厚子氏、たもつ ゆかり氏(オフィスピア代表)
▼15時50分 閉会
ダイアログカフェは、事前の申し込みが必要ですが、参加を希望される方は、ひとみらい政策課まで申し込みください。
【定員】70人(応募多数の場合は、抽選)
【申込締切】6月29日(金)
【申込方法】電話

◇講師プロフィール
・昭和30年、高知県生まれ。
・2女の母。高知大学文理学部経済学科卒。
・厚生労働省4人目の女性局長として、平成20年に雇用均等・児童家庭局長に就任。就任中に虚偽公文書作成の冤罪により逮捕されたが平成22年に無罪が確定、厚生労働省大臣官房付に復職する。平成25年7月から平成27年9月まで厚生労働事務次官を務めた。

◇基調講演の内容
村木氏は、貧困・虐待・いじめ・薬物依存など、困難を抱える若い女性を支える「若草プロジェクト」の呼び掛け人としても活動されています。困難な状況にあっても、決して諦めないことの大切さを、自身の体験も交えて講演いただきました。